

2026 年 7 月 28 日

公益社団法人日本下水道管路管理業協会

(公社) 日本下水道管路管理業協会ドローン技術分科会の検討状況

1. これまでの検討状況

- ・ 当協会技術委員会にドローン技術分科会を設置し、これまで計 3 回の分科会を開催（なお、資格等については、試験・研修委員会にて検討）
- ・ 国総研や下水道協会、下水道機構と情報交換しながら、下水道管路管理作業に従事される者に向けた技術マニュアル（技術資料、積算資料）の作成及び資格の在り方を検討
- ・ 検討対象の技術は、飛行式ドローン
- ・ 当該技術による点検対象管径は、管内での飛行の安定性確保等の観点から $\Phi 800 \sim \Phi 5,000$ mm（ただし、水位がある場合等は気相部高さが 800 mm 以上）と設定
- ・ まずは「概略点検」への活用を念頭に、健全度 I とこれ以外の区分の判定可能性を検討
- ・ なお、現状では、管きよ部分のみノーエントリーとして想定

2. 令和 8 年度以降の検討方針（案）

1) 基本方針

- ・ 点検調査を担う企業に向け、飛行式ドローンを活用して安全かつ正確な点検を行うために必要な技術資料と積算資料を掲載したマニュアルの作成、及び飛行式ドローンによる管内点検技能を有する者を認定するための資格制度について検討し、取りまとめる

2) 技術資料のイメージ

- ・ 飛行式ドローンの管内点検への適用要件（安全対策を含む）、標準的な点検方法等を取りまとめた技術資料を整備し、「下水道管路管理マニュアル」に反映

3) 積算資料のイメージ

- ・ 点検方法等を考慮した見積参考資料を整備し、「下水道管路管理積算資料」に反映

4) 資格制度のイメージ

- ・ 下水道管路管理技士（主任、専門（調査部門））等のうち飛行式ドローンによる点検に対応できる技術者を認定する制度の導入を検討